



沓掛小学校だより

5月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 589

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

「みんな ともだち」になるために

副校長 榎本 純子

新しい学年、学級での学校生活が始まり約1か月がたち、風薫る若葉の季節となりました。今年は例年になく季節の移り変わりが早く、いつの間にか駐輪場上の藤の花が咲き乱れ、花壇のつつじも色鮮やかな花をいっぱい咲かせています。その花々と同じように、新しい学年になった子供たちのやる気や、新しい目標に向かう意欲といったエネルギーで、学校中が満ち溢れているように感じます。

先日の保護者会で配布しました今年度の学校づくり基本方針についてのプリントに、「みんなともだちを合言葉に」とあります。全校児童585人が「みんなともだち」になれば、こんな素晴らしいことはありません。では、どうしたら友達と仲良くなれるのか。3・4年生の子供たちの「1学期のめあてカード」に次のようなことが書いてありました。

- ・友達を100人作りたい。だから自分がいやなことは人にはしない。
- ・友達を増やす。そのために、知らない子にも自分からあいさつをする。
- ・困っている子がいたら助けてあげたい。なぜなら私がしてもらったことがあって、うれしかったから。
- ・もっとおたがいを知り、もっと友達を増やしたい。
- ・相手を思いやって話し合いをするように気を付ける。
- ・やさしい言葉でしゃべって、相手を傷つけないようにしたい。
- ・遊んでいるときに「入れて」と言われたら、こころよく入れてあげるようにしたい。
- ・相手の目を見て、笑顔で話をする。

どのめあても素晴らしいと思いませんか。私たち大人は、ついつい子供たちにいろいろなことを教えてあげようという気持ちになりますが、3・4年生でも十分に人として大切なことを知っているのです。友達と仲良くするために何をしたらいいのか、具体的に考えているところに感心します。子供たちの成長はすごいな、子供から学ぶことがたくさんあるなとつくづく感じます。

また、このめあてに書いてあることは、子供たちだけのめあてではなく、私たち大人にとっても同じように大切なことではないでしょうか。まず私たち教員は、一人一人の子供のことをもっとよく知ろうという努力を続け、信頼関係を築きたいと思います。一人一人の目を見て笑顔で話す時間が多くなれば、そのクラスはおのずと温かなクラスになっていくはずですよ。そして保護者の皆様も、私たちに気軽に声をかけていただきたいと思います。「うちの子は学校で本当に元気にやっているのだろうか。」「最近友達とうまくいっていないようだけれど大丈夫だろうか。」と心配になったときには、ぜひ担任や学年の先生等に御相談ください。早めに情報を共有することが解決への近道になります。さらに本校には、子供たちの成長を見守り様々な支援をしてくださる地域の方々が大勢いらっしゃいます。教員でも保護者でもない別の立場から子供たちを見ていただけることは、大変ありがたいことです。

子供たちの周りにいるすべての大人が、お互いに声を掛け合い、相手の目を見て笑顔で話し、いい意味で「みんなともだち」になることで、心豊かな子供たちを共に育ててまいりましょう。